

TDBC Forum 2026

物流・商流データプラットフォームが創る新たな価値

～業界標準を推進する「物流データプラットフォーム」～

株式会社ファイネット
常務取締役
伊東 宏泰 氏

味の素株式会社
食品事業本部 物流企画部
スタッフグループ長

株式会社ファイネット
企画部（兼務）
長濱 賢治 氏

ウイングアーク1st株式会社
Business Data Empowerment
Strategic Business Unit

松本 健一

加工食品業界における物流データ標準化の歩み

2023 - Present

【社会実装】

**DPC協議会*での
実証**

流通経済研究所、ファイネットによるDPC協議会にてCO2排出量の精緻な算定、流通在庫の可視化を物流データ連携で実現。物流データプラットフォームの提供へ。
TDBCは2026から参画。



2021 - 2022

【領域拡大】

**納品伝票エコシステムの
実証**

物流情報標準ガイドライン、SIP基盤を活用した伝票データの標準化、流通を異なるプラットフォーム間で実証。

2020

【起点】

**国交省「加工食品業界
伝票電子化プロジェクト」**

WingArc1stとTDBCが参画。

味の素、F-LINEなどによって、伝票電子化を起点に物流データの標準化を開始。

**WingArc1st**

フィジカルインターネット・ロードマップ

**物流・商流データ
プラットフォーム (PF)****水平連携
標準化・シェアリング****垂直統合
BtoBtoCのSCM**

- SIPスマート物流サービス物流標準ガイドラインの活用
- 物流EDI標準の普及
- 標準化・商慣行是正等（業種別アクションプラン）

■ 製・配・販連携協議会 データ連携による物流効率化WG

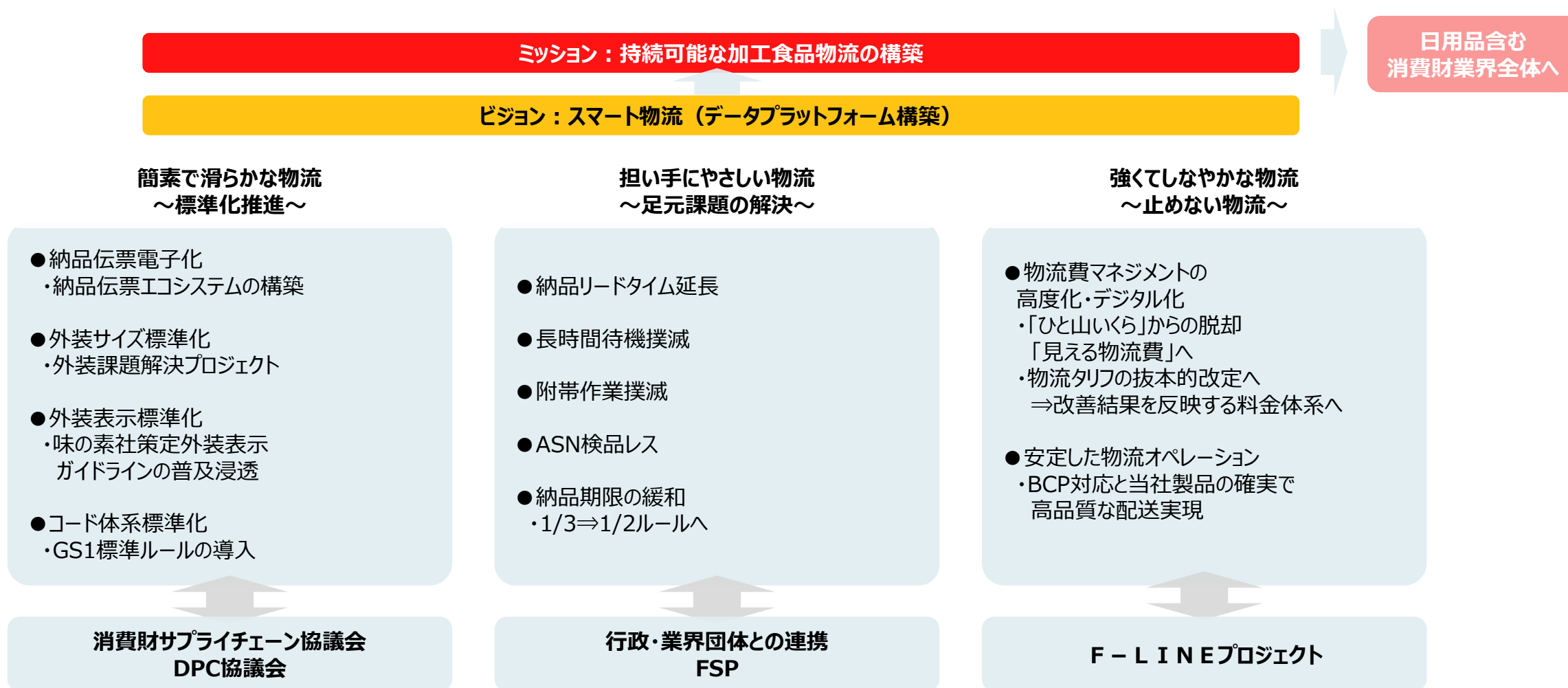
■ 経済産業省 百貨店EDI 商流・物流連携 実証事業

**WingArc1st**

* DPC協議会：Data Platform Construction協議会

味の素の取り組み（物流に関する取り組みの概要）

- 行政の動き（ホワイト物流、総合物流施策大綱、フィジカルインターネット・ロードマップをふまえ、
当社の目指すべき姿をあらためて設定、取り組みを再整理し、組織目標化

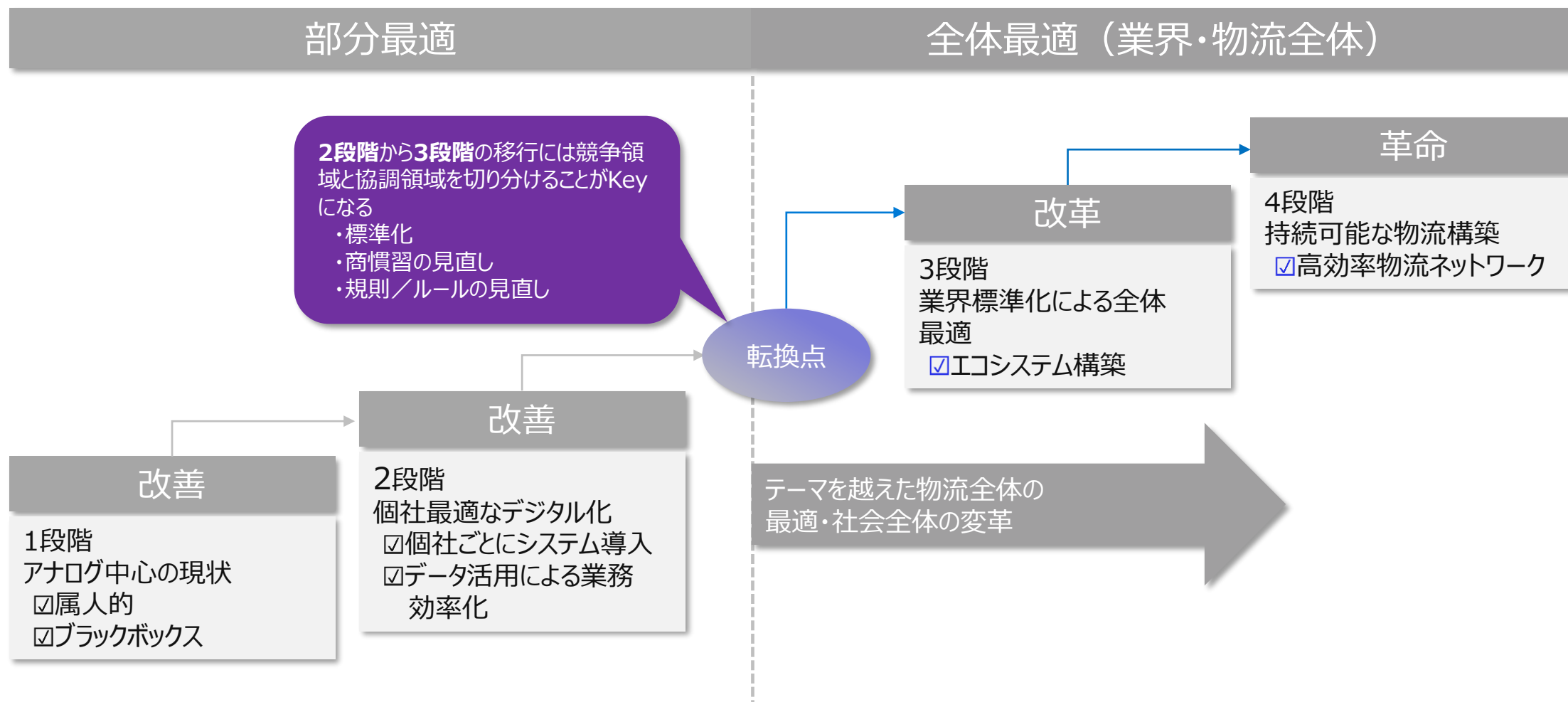


味の素の取り組み（フィジカルインターネット・ロードマップ関連）



味の素の取り組み（物流改革）

■ 物流改革の考え方：抜本的物流改革は4段階。標準化と協調による持続可能な物流構築に向け、部分最適から全体最適へのステップがポイント

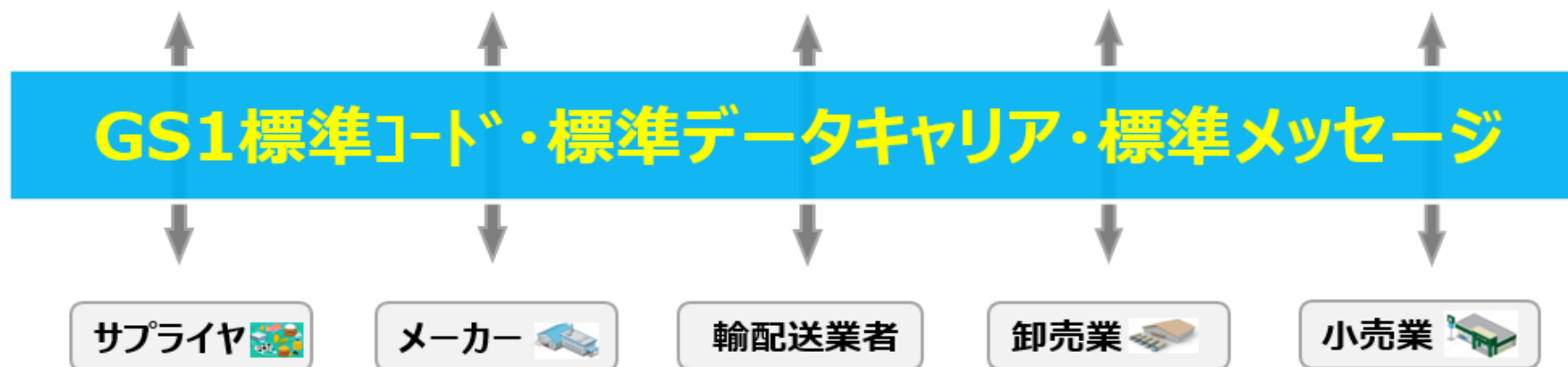


味の素の取り組み（物流データプラットフォーム）

- GS1標準のコードとデータキャリア(バーコード、RFID等)と標準メッセージを活用して物流業務をデジタル化し、SCM共有のプラットフォーム(*)を社会インフラの位置づけで構築

物流データプラットフォーム

※「貯める」だけではなく、「つなげる」ことも含む“ターミナル”のイメージ



(*) プラットフォーム：データファイル交換だけではなくプラットフォーム上のデータベースを更新し、何らかの同期方法で該当データに関係のある各社が自社システムを更新する運用方法

DPC（Data Platform Construction） 協議会の組織・活動体制

- 加工食品業界のステークホルダーの代表をメンバーとし、事務局を流通経済研究所とファイネットが担当
- 事務局が、テーマについて検討するチームの議論をとりまとめ、協議会での意思決定を進める

DPC協議会

SBM(代表:味の素)
日本加工食品卸協会
ファイネット
流通経済研究所
オブザーバー
GS1 Japan・プラネット・全日本菓子協会

事務局

流通経済研究所
ファイネット

経産省 | 国交省 | 農水省

① GS1標準活用 + Scope3 CO2算定チーム

 CO2排出量提供サービス: CO2見える化

② 次世代EDIチーム

 ASNデータによる効率化: 納品データ電子化による効率化とデータ化

③ 事業所マスタチーム

 場所を識別する情報DB構築: 一意に場所を識別する


SIP基盤

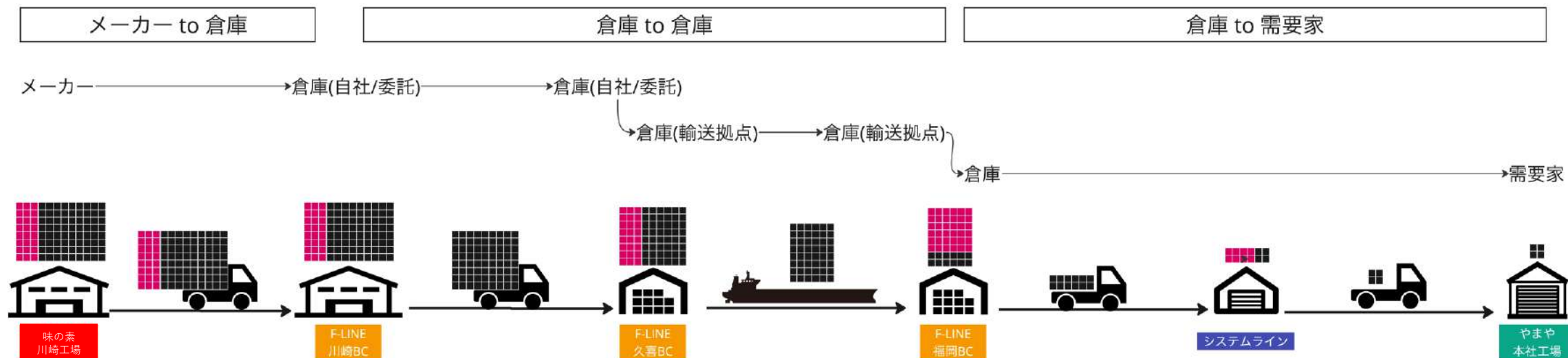
戦略的イノベーション
創造プログラム

統合データプラットフォームへ

DPC協議会 実証概要

PoC③：2026年1月

- 製造工場である味の素 川崎工場から、納品先のやまやコミュニケーションズ様(福岡) までのサプライチェーン情報の可視化PoCを実施



● 参考

- ・PoC①：2024年1月実施
- ・PoC②：2024年7月実施

● 体制

(プロジェクトリーダー) ファイネット社

(荷主) 味の素社・やまやコミュニケーションズ社、(物流事業者) F-LINE社・システムライン社

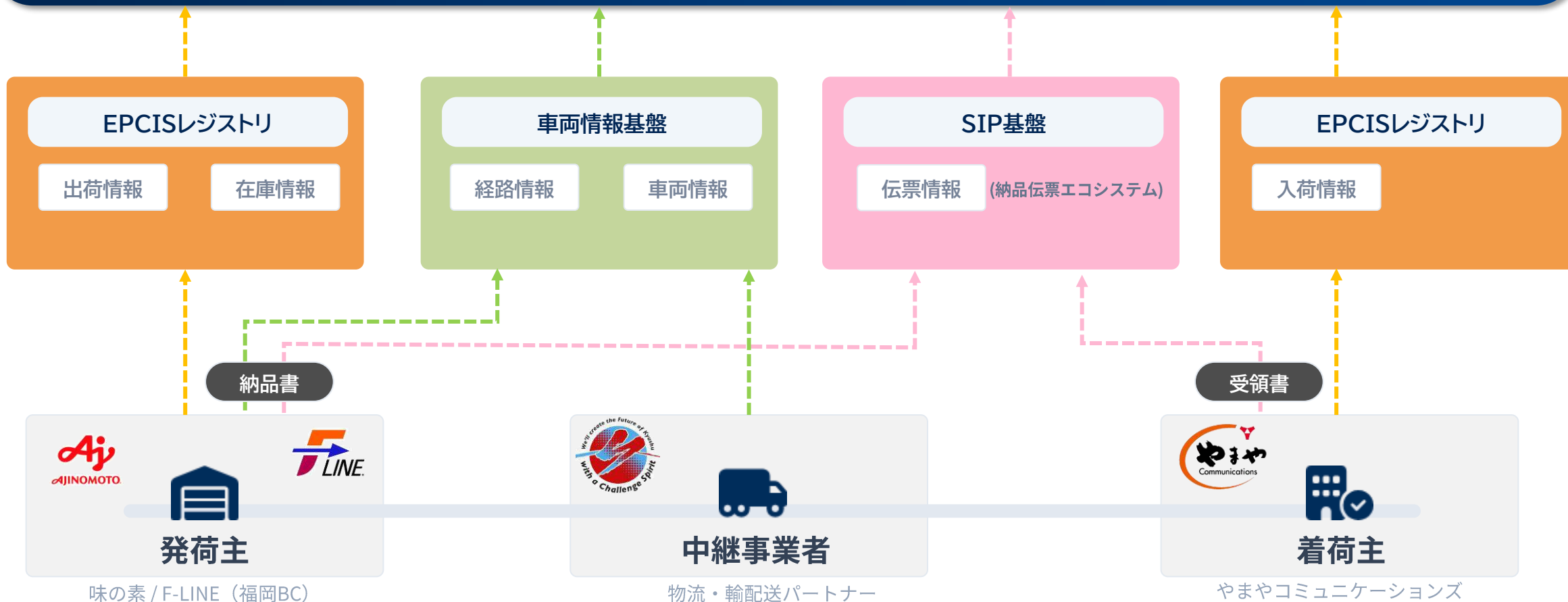
(知見提供) GS1Japan社・ウイングアーク1st社、東芝グループ社・アスア社

DPC協議会 実証概要

PoC③：2026年1月

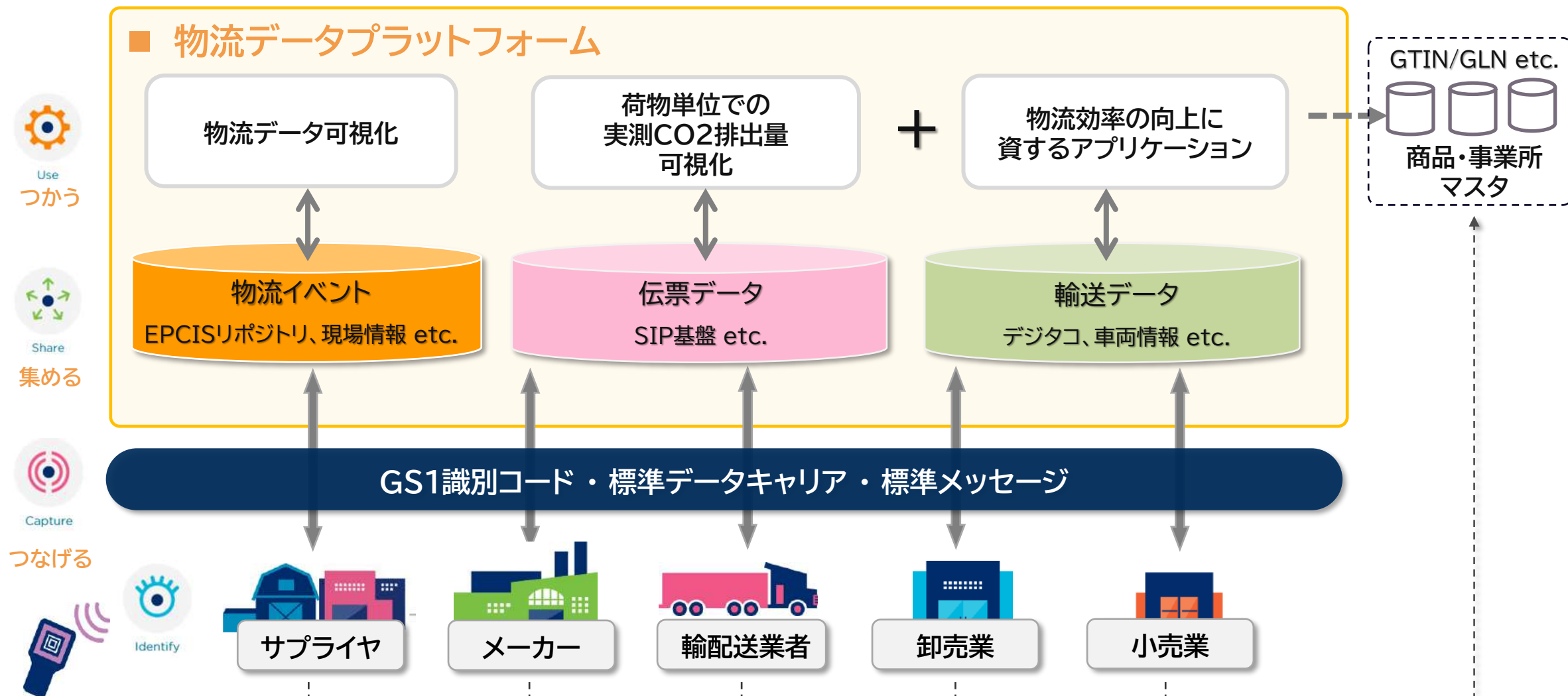
- CO2排出量の精緻な可視化、物流業務の効率化（検品等）

データの統合管理



DPC協議会 物流データプラットフォーム

- 現場でのピッキング・車両出発時間、伝票情報、車両情報等を、GS1識別コードで「つなげ」、基盤に「あつめ」、サプライチェーンやCO2排出量の可視化等に「つかう」、物流データプラットフォームを構築中



今後の展望

持続可能な物流の実現 + CO2排出量削減 (CN)

物流業務の改善
(積載効率向上、適正在庫、燃費向上など)

**実態を正しく把握し、最適な判断と
行動変容を実現する物流情報の可視化**
(CO2排出量・積載効率・流通在庫・
トレーサビリティ・共同輸配送/保管の種探し等)

- ・ フィジカルインターネットの実現
- ・ 省エネ法定定期報告
- ・ 改正物効法定定期報告 等



Thank You!